

安陵の学び 誇り前進

大高ジャーナル

発行所
鹿児島県立大島高等学校
新聞部
奄美市名瀬安勝町7-1

創立120周年記念号

- 1面…創立記念に寄せて
- 2面…全国安陵会祝辞
- 3面…あの頃の大高他
- 4面…島から甲子園他
- 5面…部活動の活躍他
- 6面…創立記念年表他

祝 創立120周年

甲子園に響く 日本一の応援



2014年(平成26年)3月25日、第86回選抜高校野球大会の第3試合に「21世紀」で本校野球部が初出場を果たした。満員のアルプスタンドからは、全校応援で選手達へエールを送った。写真は「高」の字がくっきりと浮かび上がった様子。

創立120周年記念に寄せて



校長 黒木哲二

Ever onward DAIKO

昨年からの新型コロナウィルスの猛威によって、現在も全世界の人々が自由な生活を強いらられ、その収束のめどは立っていません。この「コロナ禍」に象徴されるような、先々の見通しが立てづらい現代の渦中において、これからの時代を生き抜く力として「課題解決力」が大きく取り上げられていることを生徒の皆さんは知っているはずで、す。しかし、一人一人が持つ課題解決力がただ個人の力に終わってしまつては、より大きな課題の解決には結びつきません。必要なのは、一人一人の課題解決力が一緒になって機能することです。「協働」がこれからの時代に必要あり方として取り上げられている理由の一つもそこにあるのでしよう。

奄美大島には、昔からの「結」の精神が今も深く息づいています。この「結」の精神は「協働」に通ずるものがあると思います。この奄美大島に生まれる育つ皆さんには、これからの時代に必要とされる人材としての素材として、しっかりと育ち、活躍の場を築いてほしいと願っています。



安陵会会長 丸田卯禮男

Ever onward DAIKO

創立百二十年記念に寄せて
奄美の爽やかな季節、純白で優雅な白百合が咲き香る佳き日に、鹿児島県立大島高等学校創立百二十年を

島高等学校創立百二十年を迎え、厳かに記念式典が挙行されますことを、衷心より厚くお礼申し上げます。この度は、新型コロナウィルスの影響により参加者は、県代表と歴代校長以外は、原則として島内のご来賓の方々に限り、生徒は三年生が代表で参加、一、二年生は教室でリモート参加となり、式典の様子は、YouTubeでライブ配信となりました。

二十年前、第二十七代校長藤山萬太先生が第三代会長となり大きな節目の創立百周年事業を盛大に実施されてから早二十年、その間、平成二十六年一月二十四日午後三時五分、第三十七代校長屋村優一郎先生へ、第八十六回選抜高等学校野球大会二十一世紀杯に本部から、通達があり屋村校長が「慎んでお受け致します」と言われた瞬間、歓声が上がりました。



PTA会長 橋口耕太郎

脈々と受け継がれるもの

明治に誕生した大高が、大正、昭和、平成、そして令和と五つの元号を経て、本年創立一二〇周年を迎えるにあたり、心からお慶び申し上げます。

永い間、大高を護り、受け継いでこられた歴代の校長先生をはじめ、諸先生方、在校生、安陵会、PTA関係者など大高に関わった全ての皆さまに、感謝と敬意を表します。

私も三八回卒で安陵会の会員です。娘のおかげで再び大高の赤門をくぐり、PTA役員として、更に一二〇周年行事に関われたことに二重の喜びを感じております。

高校時代は部活や応援団などに明け暮れ、学業は少し苦手でついでいくのが一杯でした。一番の思い出は、ハンドボール部で三年時の高校総体県予選、大高創立以来、団体競技では初となるインターハイ出場を勝ち取ったことです。今でもその喜びは鮮明に覚えています。

今も昔も大高の文武両道の校風は脈々と受け継がれており、卒業して三〇年余が経ちますが、学業にも部活動にもそして応援団などにも一生懸命取り組む在校生の顔、姿は創立当時と何ら変わらないと確信します。

PTAでは現在、学校行事の運営のお手伝いをしており、主なものは、体育祭での「大高坂タクシー」の運営や駐車場係。30キロ遠行の補助、図書館ボランティアなどです。PTA会員は皆さん協力的でスムーズな運営に毎回感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

結びに、校訓である「和親」「協同」「自治」「奉仕」を胸に卒業したOBは今や、二万六千余名を数え全国各地、各界各層で活躍し、日本一の同窓会組織、「安陵会」を創り上げていただきました。これから一三〇年、一五〇年、そして二〇〇年へと大高、そして安陵会が益々発展し続けることを心からご祈念申し上げます。

「寄稿」

祝

「嗚呼安陵を愛すべし」 全国から祝賀の声続々

関東安陵会



中川裕雄さん
(第19回卒)

人格形成の基礎は
大高時代にあり
母校の創立120周年
誠におめでとうございます

な時代を過ごした。大高時代、印象に残っているのは、1年生の時である。担任は和真一郎先生。先生はまだ、20代であったと思う。古典を受け持つもらったが、文学の話も盛り込まれ、伊藤整「文学入門」、第二芸術論者の桑原武夫「文学入門」等の紹介があり、中学を卒業した小生にとっては、高校の授業の高度さを感じ、ついていけないのか、不安を覚えた。このころ、島尾敏雄の名前を教わった。後年、大学に入り、島尾作品に親しみ、改めて奄美に想いを馳せた。当時、生徒会の顧問であった藤山萬太先生には、入学早々、生徒総会が終わった後、応援歌を数曲教え

てもらったことがある。この時の教えが関東安陵会の総会・懇親会でも大いに役立っている。関東安陵会への関わりは、役所を退職し、平成21年度からである。大学教授をはじめいろいろな分野で活躍の方にお会いする機会が多く、改めて安陵会のすばさを感じている。来年は、関東安陵会は75周年を迎える。50周年の折には、奄美の現代史とも称すべき記念誌が発刊されており、それに倣い記念誌作成に向け、鋭意準備中である。これまでの関東安陵会の歴史・先輩諸氏の伝統を繋ぎ、想いを伝えたい。母校は、当時と異なり、設備面等において立派になって充実してきているが、今後益々発展することを願い、微力であるが、自分なりに寄与できるように努めたいと考えている。

で、記念事業を無事に遂行されましたことについて、衷心より敬意を表する次第です。さて、折角の機会ですので、関西安陵会のご紹介をさせていただきます。お祝いのご挨拶とさせていただきます。当会は、昨年創立60周年を迎えました。会員は、関西在住の方を中心に約1200名を有しています。当会の特筆できる活動は、母校の第86回選抜高校野球大会、甲子園出場に際して、学校の窓口として、兵庫、大阪での野球部練習試合への支援、選手歓迎会の開催、切符の手配や応援などへの積極的な取り組みでした。これらの活動は、関西安陵会の存在価値を再認識させるものでした。現在の主な活動としては、母校の校長先生、安陵会本部会長様などの来賓をお招きして毎年10月に総会&懇親会を開催しております。また、年男・年女の皆様をお招きしての新年会、卒業生をご招待しての新年会、卒業生を歓迎、会員の貴重な体験談などのお話を聞く「語り場」の開催、年2回のハイキングなどの活動をしています。当会では、学生や社会人として関西行事のご案内を郵便や関西安陵会ホームページで

北部九州安陵会



徳永和久さん
(第27回卒)

しております。各種行事での交流は、有意義で楽しいものであると思えます。私たちが皆様方を大歓迎いたしますので、奮ってご参加ください。結びに当たり、母校の更なる発展を祈念してお祝いのご挨拶とさせていただきます。

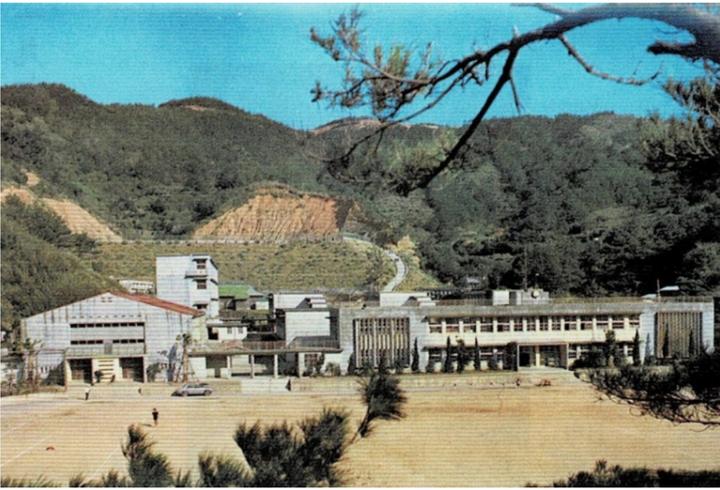
現在、本土と奄美という垣根はなくなり、離島ゆえのハンデも物理的距離を除いてなくなっています。生徒諸君は、インターネットを活用していつでも好きなだけ勉強に勤しむことができます。令和時代に大高に在学される生徒諸君にエールを送るとすれば、貴重な学校生活を勉学や部活に一生懸命に取り組み、それを3年間続けてほしいということに尽きます。この時期に行った努力や経験、友達との交流は、その後の人生の大きな糧になります。高校生活を有意義に過ごし、日本各地へ世界へと大きく羽ばたいていくことを期待しています。そして、大高の伝統・精神を次の世代にバトンタッチして欲しいと願っております。最後に、大高高校の益々の発展と皆様の多幸を祈念してお祝いの言葉と致します。

配偶者も含めて、大高時代の思い出話に時を忘れて笑い転げる楽しい付き合いを重ね支えあつて来ました。この貴重な友人たち、母校大高あつての素晴らしい仲間達です。母校の存在に感謝です。さて、昨年3月、久しぶりに訪れた母校には、見えるほど近代的な校舎が立ち並んでいました。在校生には、この素晴らしい環境で、120周年という記念すべき年の大高高校生としての誇りを新たに、さらに学業・文化スポーツ面に励んでいただけたらと思います。母校大高高校並びにふるさと奄美のますますの発展をお祈りいたします。

寂生活の思い出
昭和46年、商業科第10回大高高校での最後の卒業生です。三年間寮生活を過ごしました。朝は六時半に校庭へ集合してラ

ジ才体操を、点呼を取って、寮の清掃をした後は食堂で朝食を頂き、学校へ行くのでした。今年卒業50周年目になります。母校での卒業式参加を楽しみにしておりますが、コロナ禍では致し方ありません。寮歌
一つとせ 人里離れた大島のその名も高き大高寮
一つとせ 二親離れてきたからには 三年たたなきや帰れない
一つとせ 皆さん私のふりを見て バカな奴だと笑うでしょう
一つとせ 夜は十時に寝かされて 朝は六時に起こされる
一つとせ いつも舎監がまわるので 勉強しなれば叱られる
一つとせ 向こうに見えるのは待合所 乗って行きたくもふさふさ
一つとせ 泣かんばかりに辛いので 夜はおふくろ思い出す
一つとせ 山中育ちの私でも いやな麦飯は食いたかねえ
一つとせ ここは安勝麓です 花も咲きます散りもする
一つとせ とうとう卒業となりました 明日は去ります名瀬街を 皆さんお元気で(さようなら) 懐かしいです。

創立120周年に寄せて 全国安陵会



1972年(昭和47年)頃の本学校舎全景

上げられるよう
昭和40年総勢470名の一員として大高の門を潜った。団塊の世代で、生徒数も多く、大学受験も受験戦争として雑誌に取り上げられるよう

母校創立120周年を祝して
母校創立120周年を迎えるにあたり、心よりお喜び申し上げます。また、記念事業の準備に携わられた皆様方には、コロナ禍での難しい状況の中

関西安陵会



川上憲二さん
(商10回卒)

母校創立120周年を祝して
母校創立120周年を迎えるにあたり、心よりお喜び申し上げます。また、記念事業の準備に携わられた皆様方には、コロナ禍での難しい状況の中

鹿児島安陵会



窪島彬文さん
(第21回卒)

大高高校創立120周年を祝して
大高高校創立120周年を迎えるにあたり、心よりお喜び申し上げます。また、記念事業の準備に携わられた皆様方には、コロナ禍での難しい状況の中

大高高校創立120周年を祝して
大高高校創立120周年を迎えるにあたり、心よりお喜び申し上げます。また、記念事業の準備に携わられた皆様方には、コロナ禍での難しい状況の中

大高高校創立120周年を祝して
大高高校創立120周年を迎えるにあたり、心よりお喜び申し上げます。また、記念事業の準備に携わられた皆様方には、コロナ禍での難しい状況の中

大高高校創立120周年を祝して
大高高校創立120周年を迎えるにあたり、心よりお喜び申し上げます。また、記念事業の準備に携わられた皆様方には、コロナ禍での難しい状況の中

沖縄安陵会



鬼塚留美子さん
(商10回卒)

寮生活の思い出
昭和46年、商業科第10回大高高校での最後の卒業生です。三年間寮生活を過ごしました。朝は六時半に校庭へ集合してラ

寮生活の思い出
昭和46年、商業科第10回大高高校での最後の卒業生です。三年間寮生活を過ごしました。朝は六時半に校庭へ集合してラ



正門横「青春のわたち」像

拡大版



あの頃の大高



平山憲隆先生 本校第3回卒(88歳)

1933年(昭和8年)龍郷町秋名生まれ。旧制大島中学校、新制大島高等学校卒業。...

終戦の翌年ではありましたが、学校の雰囲気は、色はなく、比較のおおらかだったと記憶しています。...



大島高校第一部(昭和25年頃)の正門付近

Q 大中の学校生活で苦労したことはありませんか
A 大中の校舎は、空襲は受けたようですが、懸命の消火活動で大きな被害はなかったようです。...

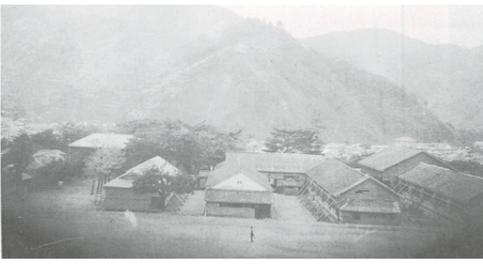
米兵が来ることもありました。1年生の時は教科書はなく先生の板書を書き写しての学習でした。...



大中から大高への過渡期の歴史を熱心に教えて下さった

1952年(昭和27年)に卒業しました。奄美の日本復帰が昭和28年12月で、私が卒業の頃はまだ米軍統治下ですから、簡単に本土に進学はできません。...

今回の「あの頃の大高」では、大島中学校と大島高等学校の両方の時代に本校生徒として学ばれた平山憲隆先生にお話を伺った。先生は、本校で理科の教諭として勤務をされた他、創立90周年、創立100周年の事務局を担当され、大島高校の歴史の集大成ともいえる『創立百周年記念誌安陵』の編集を行われた。...



旧木造校舎(昭和20年代)

大中から大高へ 終戦から米軍統治下の学び舎

Q 大中時代の思い出を教えてください
A 私は、終戦の翌年の1946年(昭和21年)に大島中学校に入学しました。入学試験もあり、今のような筆記試験ではなく口頭試験でした。...

ビンタを食らっていたそうです。私たちの時は、水を抜いたプールの中に下級生が入れられて、大中の校歌をひたすら歌わされ、覚えさせられたこととはありました。先輩達

は、並んでプールの縁から見張っているわけです。逃げることもできず怖かったことを覚えています。そうしたのは、戦前の教育の名残だったのかも

に、米軍のテントを張って、そこに机と椅子を持ち込んで授業を受けたこともありません。テントは雨が降るとすぐにだめに

なっていました。張り直すのが大変でした。時々、

お話を聞かせて下さい
A 私は、1949年(昭和24年)に新制大島高等学校第一部に入学し、

聞かせて下さい
A 同級生は農業関係の企業に就職する人が多数でしたが、大中、大高の先生に憧れがありましたし、地元に戻りたいという思いもあり鹿児島県の教員になりました。...

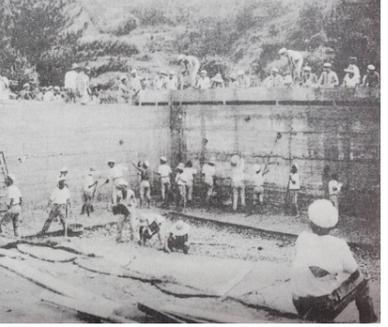
学校史に学べ 厳訓無処罰の教育と大高

本校の正門横には、荒れた学校を厳訓無処罰の教育で立て直した龍野定一(たつのていいち)先生(左)と、龍野先生に大島中学校の教諭として招聘され、大中最後の校長として戦後の最も厳しい時代の本校を率いた奥田愛正(おくだあいしょう)先生(右)の胸像がある。...



正門横にある2つの胸像

んだ。またセメントに必要な砂利は新川河原で下級生が採取し、上級生は海浜で砂を採集した。そして、下級生には運ぶことのできないセメント樽や石垣用の大石は上級生が運び、下級生は砂利や砂を運んだことなど、上級生と下級生の力量の差による分担作業は工事の中で多く見られた。



砂利運搬からコンクリート敷設まですべて生徒の手作業で行われた



完成した飛び込み台付きのプール

「参考文献・写真」龍野定一著『厳訓無処罰の教育』黎明書房1966年他

生徒の手作業でプール完成
1929年(昭和4年)5月15日、龍野定一が校長に就任してから約5年が経った頃、創立10周年記念事業のプール新設工事が始まった。このプールは長さ25M、幅16M、深さ3・7Mの鉄筋コンクリートで作られた。...

6月30日、土堀作業が終わりプールの土台工事からセメントを入れる作業に入ったが、その時点ではセメント混ぜ機がまだ来ておらず手作業でセメントを混ぜて使用した。その後プール底部の地固め作業を経て、セメント混ぜ機が2台到着したことで作業は勢いを増し、9月9日に四壁のセメント工事が終わった。...



本校を群島随一の名門校に育てた龍野先生と奥田先生(当時)

健康児とプールの完成を祝福した。プールは洗身場や脱衣室、プールの水を利した理科実験室や寄宿舎用の電気を供給する発電装置を完備していた。龍野校長は、奄美の青年にとって健康上最も危惧する「耐寒」の修行として、全校生徒に毎日プールに飛び込むことをさせることにした。...

「参考文献・写真」龍野定一著『厳訓無処罰の教育』黎明書房1966年他

Q 現在の高校生にメッセージをお願いします
A 歴史ある学校の伝統を受け継いで、和親、協同、自治、奉仕の校訓を胸に、目標に向かってハングリー精神で頑張ってください。『要田のか』

大高生の進路情報

令和元年～3年度入試

校種	名称	入試年度			校種	名称	入試年度		
		令和3	令和2	令和元			令和3	令和2	令和元
国	北海道教育大学		1		私	青山学院大学	1	1	1
	茨城大学			2		駒澤大学	2		1
	筑波大学	1	2	1		日本薬科大学			1
	群馬大学			1		専修大学	2	1	1
	埼玉大学		2			上智大学	1		
	東京工業大学			1		慶応大学			1
	信州大学			1		津田塾大学	1	2	
	静岡大学			1		帝京大学	2		4
	富山大学			1		東海大学			1
	三重大学	1				東京理科大学	1		
公立	京都教育大学		1		日本大学	2		4	
	神戸大学	1			芝浦工業大学	1			
	岡山大学		1		法政大学	2		2	
	広島大学			1	亜細亜大学	1		1	
	山口大学		2	1	順天堂大学	2	1	1	
	愛媛大学		1		関西学院大学		2		
	香川大学	1	1		近畿大学	2	1		
	九州大学	1			西南学院大学	2	2	2	
	九州工業大学	3			福岡大学	7	4	2	
	福岡教育大学			1	鹿児島国際大学	13	26	18	
大	長崎大学		2	3	鹿児島純心女子大学	3	3	3	
	熊本大学		1	2	志学館大学	11	9	10	
	大分大学			1	その他	99	81	109	
	宮崎大学	2	2		小計	155	133	162	
	鹿児島大学	7	3	8	鹿児島女子短大	8		8	
	鹿児島大学	1			その他	11	10	17	
	琉球大学	3	4	2	小計	19	10	25	
	北九州市立大学	1	3	1	水産大学校			1	
	その他	7	11	16	海上保安学校	1			
	小計	29	37	44	その他			1	
公立短大	鹿児島県立短大		1	3	小計	1	2	4	
	その他	1	1	1	専門学校			87	
小計	1	2	4	合計			292		
		就職者数(令和3年)							
一般企業		3		公務員		10			
		計				13			

[森田佳澄]

※数字は合格者の延べ人数 含過年度卒

平成30年度～令和3年度 部活動等の活躍

H30 全九州空手道選手権大会 個人組手第3位 清

クラス) 福崎祐真

個人組手準優勝(C

第3位(九州大会出場)

第54回県高校生空手道競技大会 団体組手第3位(九州大会出場)

第55回県高校生空手道競技大会 団体組手第4位(九州大会出場)

第53回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第52回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第51回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第50回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第49回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第48回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第47回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第46回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第45回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第44回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第43回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第42回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第41回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第40回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第39回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第38回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第37回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第36回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第35回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

空手道部 全国級の活躍光る

美術・書道・英語・新聞も全国の舞台へ

部活動や各種コンクールにおいても、大高生の活躍はめざましい。体育系においては、空手道部が全国・九州大会出場を重ねており特に注目される。また、文化系の部活動の躍進が見られるのも近年の特徴であり、美術部、書道部、英語部、新聞部が全国級の大会への出場権を得たり、全国コンクールで高く評価されている。本報の紹介のプレゼンテーションを競う「ヒプリアバトル」も本校は全国レベルだ。

〇部活動

男子空手道

H31 第43回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

手道優勝(九州大会出場)

第54回県高校生空手道競技大会 団体組手第3位(九州大会出場)

第55回県高校生空手道競技大会 団体組手第4位(九州大会出場)

第53回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第52回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第51回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第50回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第49回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第48回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第47回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第46回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第45回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第44回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第43回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第42回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第41回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第40回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第39回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第38回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第37回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第36回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第35回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第34回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第33回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第32回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第31回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第30回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第29回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第28回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第27回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第26回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第25回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第24回県高校生空手道競技大会 団体組手準優勝(九州大会出場)

第40回全国高等学校空手道選手権大会において、形の競技が始まる前の様子 (東京体育館)



大会(夢・きぼう杯全国大会出場)
第54回県高校生空手道競技大会 団体組手第3位(九州大会出場) 団体形第3位(九州大会出場)
個人組手(Aクラス) 第3位 濱畑姫菜
第39回全九州高校生空手道新人大会 団体組手南ブロック第3位(全)

第39回全九州高校生空手道新人大会 団体組手南ブロック第3位(全)

第39回全九州高校生空手道新人大会 団体組手(新型コロナのため中止)

男子水泳
H31 県高校水泳(競泳)競技大会(九州大会出場)

第27回県高校生新人水泳競技大会 50M平泳ぎ第3位 和田恒平
女子水泳
H31 県高校水泳(競泳)競技大会九州大会出場

第27回県高校生新人水泳競技大会 200M平泳ぎ第2位 永井杏奈 第3位 西村真緒 200M個人メドレー第3位 西村真緒

第27回県高校生新人水泳競技大会 200M個人メドレー第3位 西村真緒

高校美術工芸研究会大賞に輝いた碓山香帆美さんと作品「DOLLY」(洋画部門)



クイズ コクト君とまーじんま!

Q. 大島高校の校章の真ん中ひし形は何を表しているでしょうか?

- ①ひし餅
 - ②そろばんの玉
 - ③奄美大島
 - ④大島紬の龍郷柄
- ★答えは6面にあるよ



県ティベート大会優勝の大島Aチーム(英語部)奄美新聞社提供

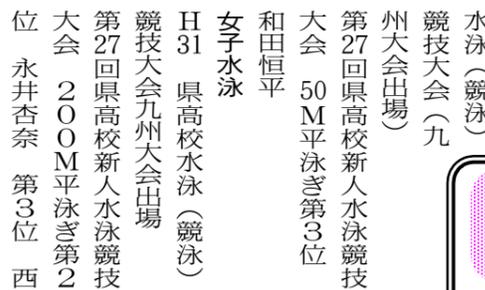
第4回県高校英語パラメソニックティベート大会準優勝
第10回日本高校生パラメソニックティベート大会準優勝
第2回全国高校生英語ティベート大会エッセイコンテスト英語コミュニケーション部門 優秀賞 畑友一朗
H31 第19回県高校生文芸コンクール 詩部門最優秀賞 泰文奈
H30 全九州高校総合文化祭鹿児島県大会 文芸部門俳句優秀賞 泰文奈
R2 第8回言語芸術朗読コンテスト 入賞 登島凜
R2 第47回県吹奏楽コンテスト 金賞 川内優紀江
H31 第46回県吹奏楽コンテスト 金賞 浜田実
R2 第68回学校新聞コンクール(南日本新聞社主催) 第1席
第25回全国高校新聞年間紙面審査賞入賞校(全国総文祭和歌山大会出場)
H31 第67回学校新聞コンクール(南日本新聞社主催) 第1席

〇各種コンクール
R2 令和2年度県高校生ヒプリアバトル 優勝 畑友一朗
H31 県高校英語スキット弁論大会 最優秀賞 要田ののか 要田悠那
H31 ヒプリアバトル西日本大会 優勝 積風我

県高校揮毫大会で、高文連賞を受賞した、右から里純花さん、永島優芽さん、川畑音寧さん



第68回学校新聞コンクール表彰式



H31 第68回学校新聞コンクール(南日本新聞社主催) 第1席(最高賞)の表彰式にて(新聞部)

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英
R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位
県高校春季ソフトテニス選

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花
全日本高校大学生書道展 団体優秀校 第7位
全九州高校総合文化祭宮崎大会 優秀賞 神林美穂
英語
R2 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

R2 第45回県高校生新人ソフトテニス競技大会 団体第3位

H31 第24回全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展大賞 泉 優花

H31 第23回県高校英語ティベートコンテスト 優勝

H31 県高校新体操学年別種目別選手権大会 団体第3位 個人選手権3学年第3位 久保紗英

大島高等学校 創立120周年記念年表

明治34年4月	鹿児島県立大島農学校が設立 定員320名(予科200名 本科120名)	大島郡伊津部安勝(現在地に開校)
36年3月	予科生67名卒業	
39年3月	本科第一回生22名卒業	
大正5年4月	鹿児島県立大島中学校として開校 (5月27日開校記念日)	
7年3月	鹿児島県立大島農学校廃校	
15年5月	創立10周年記念式典を挙げる	
昭和4年5月	創立10周年記念プール建設着工	
10月	全工事を生徒の奉仕で25メートルプール完成	
5年11月	先師亡友の招魂碑除幕式・追悼式を挙げる	
10年5月	創立20周年記念式典を挙げる	
12年5月	大島中学校校歌を制定	
15年5月	大島中学校校旗を制定	
18年4月	大島中学校創立25周年記念式典を挙げる	
19年8月	学級増、一学年4学級の編制となる	
20年4月	本土への疎開のため転校生増加 戦争激化のため始業式・入学式を延期 7月16日に挙げる	
8月	終戦	
9月	本土との交通途絶のため教科書なし で授業再開	
21年2月	本土と行政分離 米国軍政府統治下北部南西諸島政庁 (後の奄美群島政府)に移管	
昭和24年4月	新制高校として発足、総合制の大島高等学校第一部となる	
28年12月	日本復帰	
29年4月	鹿児島県立大島高等学校となる	
12月	校章を制定	
32年10月	大島高校校歌を制定	
37年8月	プール拡張50メートル 公認プール完成	
11月	創立60周年記念式典を挙げる	
43年3月	上部グラウンド完成	
46年11月	創立70周年記念式典を 挙げる	
52年6月	特別教室棟竣工	
53年9月	体育館竣工	
61年2月	校訓碑建立	
平成3年11月	創立90周年記念式典 を挙げる	
4年10月	校舎全面改築基本設計 図完成	
8年11月	校舎改築完成(創立95周年) 記念式典を挙げる	
9年2月	校舎改築第三期工事竣工	
11年3月	自転車置場完成(216台収容)	
12年9月	校旗の更新、応援団旗の制定	
13年11月	創立100周年記念式典を挙げる	
14年4月	学級減、普通科8学級の編制となる	
15年3月	体育館大規模改修完成	
15年4月	2学期制実施	
7月	同窓会による空調設備設置	
16年12月	特別教室棟耐震補強工事完成	
17年4月	学級減、普通科7学級の 編制となる	
20年3月	校内LAN整備工事完成	
22年3月	地球温暖化対策屋上緑化工 事完成	
4月	3学期制復活	
6月	記念碑「嗚呼安陵を愛すべ し」除幕式	
11月	創立110周年記念式典を 挙げる	
24年3月	管理棟車椅子用スロープ 整備	
25年3月	上部グラウンド給水ポンプ 及び給水管取替補修 和親館空調改修工事完了	
26年3月	第86回選抜高等学校野球大会出場(21世紀杯) 1・2年生全校応援実施、応援団最優秀賞受賞	
27年8月	平成27年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞	
29年2月	特別棟大規模改修工事完成	
5月	上部グラウンド改修工事完成	
8月	上部グラウンドクラブハウス外壁改修工事完成	
30年5月	同窓会・PTAによる空調更新設置	
8月	野球部後援会による屋内練習場完成	
令和2年3月	新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が出され臨時休業	
6月	新型コロナウイルスの影響により文化祭中止	
9月	新型コロナウイルスの影響により体育祭中止	
3年5月	創立120周年記念式典を挙げる	



鹿児島県立大島農学校校舎



鹿児島県立大島中学校
全景(昭和9年頃)



現在の管理棟
(平成6年7月完成)



第86回選抜高校野球大会での入場行進(平成26年)

赤むじらし



現在の学校寮の食堂の前にある赤門は、大中、大高時代と長きにわたり本校の正門の門柱だったものだ。門の幅が狭く、工事で倒壊した門柱を、1971年(昭和46年)に第16回卒の先輩方が、創立70周年を記念して復元したという。

〔隈元莉々亜〕



写真(左)は、1935年(昭和10年)頃の大島中学校時代の下校時の風景。背の高い旧赤門が見える。

クイズ

コケ君とまーじんま!
の答えよ♡

答えは、③
「奄美大島」

丸田卯禮男安陵会会長の解説文によると、校章の菱形は、大島農学校時代に遡るそう、昭和29年4月に現在の形になったそうよ。

上下左右の矢印は、4

島を示している中心の菱形は大島本島を示しているのよ。それから、校章の菱形のそれぞれの角には、「大」の字が4つ描かれていて、間に隙間があるけど、これは「大」は「おお」、「四」は「し」、「問」は「ま」を意味するそう。「幻の名校章」と言われる本校の校章。これからも大切にしていきたいね。

〔隈元莉々亜〕

編集後記

精一杯勉強、部活ができる環境に感謝したい。「要田ののこ」 甲子園出場をきっかけに地域も一体となり応援する結の精神を学べた。「要田悠那」 文武両道を掲げ、何事にも全力で挑む大高吾 大高の校章

生であり続けたい。の柄が持つ意味は面白かった。楽しみながら調べられた。「隈元莉々亜」

20周年の節目の新聞作りに関わることができて嬉しかった。「川田翔太」

厳罰無処罰の教育を通して、大高育を通して、大高を作り上げた先人について知れた。「野崎瞬」

卒業生の母校を誇りに思い出した。「赤井洗太」

以上、新聞部制作メンバー9名